

# H27農事メモ(第3号)

平成27年5月25日  
白山石川営農推進協議会  
石川県農業共済組合  
松任市農業協同組合

## 田植えの1ヶ月後には中干し開始

的確な中干し・溝切りですっきりしたイネづくりを！！

### 水稻の生育状況

5月上旬までに田植えされた圃場では、気温が高く経過したことから活着が順調に進み、葉色も濃くなりつつあり、一部で分げつ発生がありました。  
今後も分げつの発生が早まると予想され、**中干しの開始時期は早まる** 見込みです。

### 当面の栽培管理

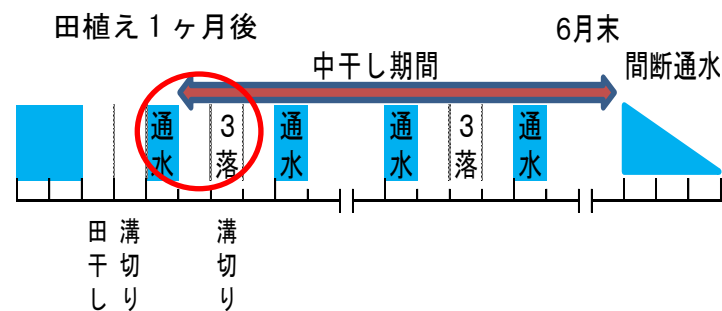
#### 1 分げつ期の水管理

##### (1) 中干しまでの水管理

- ◎好天の日中は浅水管理をし、水温・地温の上昇を図り分げつの発生を促しましょう。
- ◎中干しまでに田干しを2～3回し、土壌中のガスを抜き根の健全化を図りましょう。
- ◎表層はく離・アオミドロ等の発生が多い圃場では落水・軽い田干しを行いましょう。

##### (2) 中干し開始・目標穂数の70%で開始、過繁茂とならないよう早めに！！

見た目には細いが、中干し開始時期です！



##### ◎開始時期の目安

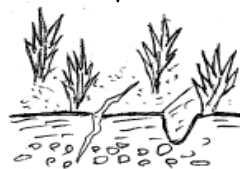
コシヒカリ 茎数14～15本/株(5月連休植えの場合6月1日頃から)

ゆめみづほ 17～18本/株( " 6月1日頃から)

◎方法・・・1日通水・3日落水を数回、繰り返す。

##### ◎留意点

- ①中干し程度は田面に小ヒビが入る程度とする。
- ②強く干しすぎたり大ヒビを入れると、根を傷めたり圃場の水持ちが悪くなることもある。



(3) 溝切り・・・中干しの効果を高め、入排水を効率的に行うため、必ず設置する。

◎15～30条おきに溝を切り、各溝は排水口と必ず連結する。



### 《生育に応じた今後の対応方針》

時期	生育が早い、旺盛な場合	生育が遅い、虚弱な場合
分げつ盛期(6月上旬)	田干しの後、溝切り、きっちりとした中干しを行う。	浅水管理で分げつの発生を促し、軽めの中干しから始める。

### 中干し現地講習会

- 6月1日(月) 中央地区 西南地区 開始18時～  
(白山市役所正面の圃場)(JA松任農機センター周辺)
- 6月2日(火) 北星地区 松南地区 開始18時～  
(JA松任北星支店横の駐車場)(JA松任松南カントリー前)
- 6月3日(水) 溝切り実演会(村井町 詳細は別紙案内をご覧ください。) 開始13時30分～



### 刈取り直前の水管理も中干しと併せて溝切りすると効果バツゲン！！

#### ○中干しの効果

- ・窒素吸収を抑制することや一時的に地温の急激な上昇を招くことから、**無効分げつの発生を抑制**します。
- ・無効分げつが少なくなることで、株内環境が良くなり茎が充実し、下位節間の伸長が抑制されて**倒伏が軽減**されます。
- ・根が急激に発生する時期と重なり、十分な酸素供給など土中の環境が改善されることで、**根の活力が高まり広く深く張ります**。
- ・根張りが良くなると登熟を最後まで支えることができ、**収量・品質が向上**します。
- ・ほ場の地耐力が高まり、収穫の機械作業が容易になり、**適期収穫**につながります。

#### ○溝切りの効果

- ・ほ場全体に水が効率よく行き渡るので、容易に**均一な水管理**ができます。
- ・均一な水管理はほ場全体の生育を揃え、**品質のパラツキが減るとともに収量向上**につながります。
- ・収穫直前まで通水できるので、乳白粒や胴割粒が減り、**登熟歩合が高まり収量・品質が向上**します。
- ・登熟期間中のフェーン風対策など、品質向上の上で**緊急に土壌水分を高く保ちたいときにも速やかな通水**ができます。



**溝切りの実施で登熟後半までの水管理を容易にしましょう**

## 2 雑草管理

(1) 本田（「2015 営農のてびき」の 38・39 ページも参照してください）

○ノビエの取りこぼしが多いとき 《ヒエ剤》

薬剤名	使用時期	使用量 10a 当たり	本剤の 使用回数	使用方法
ヒエクリーン 1 粒剤	移植後 15 日～ノビエ 4 葉期 (但し、収穫 45 日前まで)	1 kg	1 回	湛水散布
クリンチャー 1 粒剤	移植後 7 日～ノビエ 4 葉期 (但し、収穫 30 日前まで) 移植後 25 日～ノビエ 5 葉期 (但し、収穫 30 日前まで)	1 kg 1.5kg	2 回以内	湛水散布
クリンチャーEW	移植後 20 日～ノビエ 6 葉期 (但し、収穫 30 日前まで)	100ml 希釈水量 100ℓ	2 回以内	湛水散布または 落水散布

○広葉雑草の取りこぼしが多いとき 《広葉剤》

薬剤名	使用時期	使用量 10a 当たり	本剤の 使用回数	使用方法
バサグラン粒剤	移植後 15～50 日 ※カクワイに対しては移植後 15～35 日 まで (但し、収穫 60 日前まで)	3～4 kg	1 回	落水散布または ごく浅く湛水して 散布
バサグラン液剤	移植後 15～50 日 (但し、収穫 50 日前まで)	500～700ml 希釈水量 100 ℓ	2 回以内	
粒状水中MCP	有効分げつ終止期～幼穂形成期前 (但し、収穫 60 日前まで)	3～4.5kg	1 回	湛水散布

○ノビエ・広葉雑草とも混在するとき 《ヒエ剤+広葉剤》

薬剤名	使用時期	使用量 10a 当たり	本剤の 使用回数	使用方法
サンパンチ 1 粒剤	移植後 15 日～ノビエ 3.5 葉期 (但し、収穫 60 日前まで)	1 kg	1 回	湛水散布
クリンチャーバス ME 液剤	移植後 15 日～ノビエ 5 葉期 (但し、収穫 50 日前まで)	1000ml 希釈水量 70～100ℓ	2 回以内	落水散布または ごく浅く湛水して 散布
ワイドパワー粒剤	移植後 20 日～ノビエ 5 葉期 (但し、収穫 60 日前まで)	3 kg	1 回	

**農薬散布後の止め水期間は 7 日間！**

**本田粒剤や水田用除草剤の散布後 7 日間は落水やかかけ流しをしない！！**

作業のポイントのチェック！！

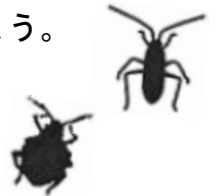
- 好天の日は浅水管理をしましたか？     中干しまでに 2～3 回の田干しをしましたか？  
 茎数を確認し中干しを開始しましたか？     溝切りを実施しましたか？  
 けい酸加里の施用はできましたか？

(2) 畦畔（「2015 営農のてびき」の 41, 42 ページも参照してください）

○水稻畦畔の除草体系の目安

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
本田作業等	耕代 か 起 き	田 植 え	梅 雨		出 穂	収 穫	
畦畔除草剤の 散布時期	耕起前～田植前	梅雨前	7月 中旬	除草禁止期間		収穫後	
(参考) 雑草の発生状況	春草		夏草				
	スギナ		防除適期				

※斑点米カメムシ類の生息密度を下げるため、畦畔等の雑草地の除草を実施しましょう。  
特に、出穂期前後の除草はカメムシ類の本田侵入を助長する恐れがあるので、  
7月上旬の仕上げ除草を徹底しましょう。



○除草剤使用の注意点

- ・違った作物が隣接する場合には、両方に登録のある除草剤を使用して下さい。
- ・作物が違くと、同じ除草剤でも使用時期や使用量が異なることがあるので、使用方法等を確認してから散布して下さい。

※なお、大豆や大麦については、農薬登録上畦畔と本田の区別はありません。

## 3 病害虫防除

(1) 基幹防除 箱施薬剤（いもち剤）を使用しなかった場合は、本田で防除してください。

対象害虫	薬剤名	使用量 10a 当たり	使用時期	本剤の 使用回数	注意事項
いもち病	オリゼメート 1 キロ粒剤	1 kg	6月11 ～15日	2 回以内	湛水状態で播きムラの無いように 散布する

※補植苗の本田放置はいもち病の発生源となるので、  
早急に除去しましょう！



(2) 随時防除 田まわりをこまめに実施し、発生が見られたら速やかに防除しましょう。

※常発地や昨年発生が見られた地域は田まわりを徹底しましょう

対象害虫	薬剤名	使用量 10a 当たり	使用時期	本剤の 使用回数	注意事項
ニカメイチュウ	パダン粒剤 4	3 kg	6月上旬	6 回以内	湛水深 3～5 cm で散布し、4～ 5 日間は湛水状態を保つ
フタオビコヤガ (イネアオムシ)	パダン粉剤 DL	4 kg	6～7月	6 回以内	周辺作物への飛散に注意する

## 4 けい酸加里の追肥

資材名	施用時期	施用量 10a 当たり	効果
けい酸加里プレミア	早生品種 6月15～25日	40 kg	根の活力向上、倒伏軽減、 登熟向上
ファイトアップ	コシヒカリ 6月20～30日	500g/10a	

※「新土づくりゾーンサイクルプラン」を実施した圃場で、けい酸アップ・コシー発くんを施用している場合は省略できます。

**6 月中旬から 7 月上旬の畦畔除草でカメムシ類の生息密度を減らしましょう。  
草刈り後の雑草は適切に処理しましょう（用排水路に流れないように注意）！！**